

## お客様の「いきいき」のために

# お客様の健康を考えます

適切でない飲酒によるお客様の健康障害を防止するため、適正飲酒の啓発活動を行うとともに、商品の特性をわかりやすくお伝えする表示を心掛けています。

### 適正飲酒の啓発活動

お酒は、適量であればストレス緩和やコミュニケーションを円滑にすることに役立ちますが、飲みすぎによる健康障害や未成年者飲酒、飲酒運転などの問題があることも事実です。

宝酒造では、適正飲酒の啓発は酒類を製造販売する企業の重要な責任と考え、この問題にいち早く取り組んできました。1985年の「Say Noキャンペーン」では「いい日、いい酒、いいマナー」を提唱し、さまざまな形でメッセージを発信したほか、1986年にはお酒の正しい知識や飲み方をわかりやすくまとめたパンフレット「Say No読本」を発行し、現在は1995年にリニューアルした「Say No! Press」をさまざまなイベントでご提供しています。

未成年者飲酒防止の取り組みとしては、1995年から製品本体における注意表示を実施しており、飲酒運転防止に関しても自主的な取り組みとして注意表示を実施しています。

☒ C:「Say No! Press」



1985年当時の「Say Noキャンペーン」ポスター 「Say No! Press」



ホームページ内の適正飲酒啓発ページ

### 親子で学ぶ適正飲酒

2004年から実施している「TaKaRaお米とお酒の学校」では、社会問題となっている未成年者飲酒防止をはじめとする適正飲酒のためのプログラムを実施しています。子どもたちにもわかりやすいように、イラストや看護師の方のお話も交えながら「子どもがお酒を飲んではいけない理由」「大人になってからの上手なお酒との付き合い方」「妊娠中や授乳期、車の運転時など絶対に飲んではいけない理由」などについて学びます。また、アルコールが体におよぼす効果、影響を親子で学び、お酒についての正しい知識とマナーを身につけていただくために、アルコール体質判定テスト(パッチテスト)などの体験も取り入れています。



アルコール体質判定テストの様子

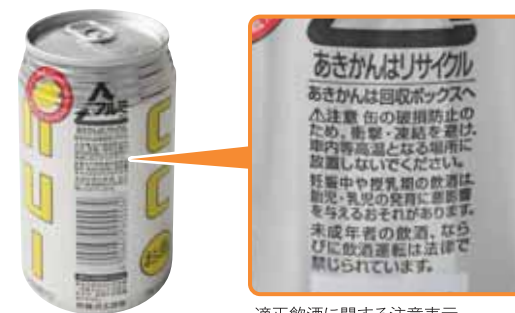


看護師の方によるお話

### 妊産婦飲酒の防止

妊娠中の女性が飲酒をすると、アルコールは血液を介して赤ちゃんの体内に入ります。その結果、生まれてくる赤ちゃんに脳や身体の発育障害、特徴のある顔貌、臓器・生殖器・手足の皮膚・骨・筋肉などの障害が現れる危険性があります。これらは「胎児性アルコール症候群」と呼ばれており、出産障害の原因の一つとされています。

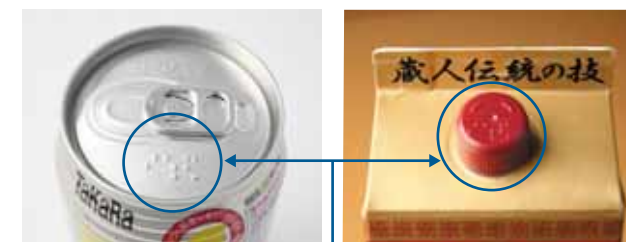
宝酒造では、ホームページや「Say No! Press」を通じて妊産婦飲酒の危険性についてお知らせしています。また、2004年に酒類業界として酒類の容器に妊産婦に対する飲酒の注意表示を入れることを決め、当社の酒類商品において「妊産婦飲酒警告表示」を実施しています。



適正飲酒に関する注意表示

### 誤飲防止の取り組み

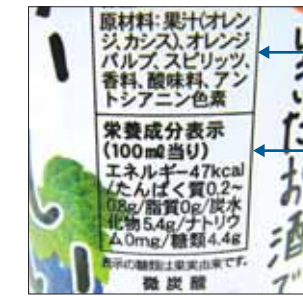
宝酒造では、1995年に誤認飲酒防止のために国内で初めてタカラcanチューハイシリーズの缶ぶたに点字で「おさけ」の表示を入れました。2002年には、やはり国内で初めて酒類紙パック商品のキャップに、同様の表示を入れました。



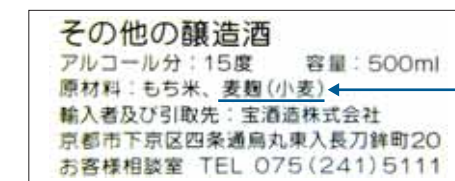
缶ぶたやキャップに点字を表示

### 原材料・栄養成分・アレルギー等の表示

関連法規に準じて原材料やカロリー等の栄養成分について表記はすることはもちろんのこと、法的には酒類商品に表示義務のないアレルギー成分についてもラベルに表記を実施しています。



原材料・栄養成分表示の例(チューハイ)



アレルギー表示の例(紹興酒)

### 商品の表示に関するさまざまな取り組み

これまで本格焼酎や甲乙混和焼酎には、表示に関する公正競争規約や自主基準がありました。甲類焼酎には、表示に関する業界内における統一したルールがありませんでした。一方で、原材料名を明記した本格焼酎との比較などにより、お客様から甲類焼酎の原材料に関する問い合わせを多数いただくようになりました。そこで、宝酒造では「甲類焼酎の表示に関する自主基準」が規定された2007年10月以降、甲類焼酎すべての商品を対象に原材料表示を実施しています。

また、清酒一升びんに紙巻き包装を施した商品については、包装紙を外さなければ製造年月を確認することができませんでした。このため製造年月を紙巻きにも表示するよう改善し、製造年月の確認を容易にしました。このように、商品特徴の訴求面も含めてより適切な商品表示に努めており、お客様が商品を選ぶ際に、わかりやすい表示となるよう心掛けています。